

第69番札所 七宝山 観音寺

— 「七宝山」の山号にふさわしく、多くの宝物を所蔵するお寺 —

本尊：聖観世音菩薩（秘仏）
所在地：香川県観音寺市八幡町1-2-7
TEL：0875-25-3871
宿坊：なし



第68番札所の神恵院と同じ琴弾山の境内に建つ、第69番札所観音寺。寺伝によると、703年、日証上人が九州の宇佐八幡神を琴弾八幡宮にまつり、その別当寺「神宮寺宝光院」としたのが始まりとされています。その後、唐から帰国した弘法大師がここを訪れ、第7代住職を勤めています。

このとき弘法大師は、山の中腹に奈良の興福寺にならって七堂伽藍を建立し、ご本尊とする聖観世音菩薩を刻んで安置しました。さらに、地鎮のためにこの地に7つの宝を埋めたことに由来して、山号と寺号を「七宝山 観音寺」に改めたといわれています。

同境内にある神恵院とは対照的に、古刹らしい風情が魅力の本堂は、室町時代の建築で、国指定の重要文化財。朱色と背景の山の緑のバランスが美しく、素朴ながらも威風堂々とした表情に、頼もしさを感じます。また、本堂近くの鐘楼も、職人技が光る精巧な彫刻で見応えたっぷりです。横柱と裏天井全体に広がる雲海模様。その中を泳ぐ4体の龍は四方をぐっと力強く見つめていて、今にも空に飛んでいきそうな勢いです。

宝物館には、琴弾八幡本地仏像図や琴弾宮絵縁起図など、重要文化財がたくさんあります。特に釈迦入滅の瞬間を表現した釈迦涅槃像は、彫刻物として残っているものが少なく、貴重なものといわれています。宝物館は非公開ですが、涅槃像のみ2月15日の涅槃会において開帳しています。

